

「中央公論」に紹介されました

中央公論新社発行の「中央公論」2004年1月号に当社が紹介されました。

東京都練馬区豊玉南1-21-10
TEL.03-5946-7336
http://www.slt.co.jp/



高野 裕 社長

中央公論
2004年1月号

ニッポン再発見

「測れないものを測る」レーザースカン 用途開発で広がる可能性

●イーエルティイー(東京)

レーザースカンに特化

地球上にはさまざまな光が満ちあふれている。中でもレーザーは人間が作り出した数少ない光の一つで、自然光と比べて光を速くに飛ばすことができ、小さいスポットを作るのに優れている。また、光の位相がそろっているという特徴があり、そのレーザーをスキャンすることで、さらに多くの情報量が得られる。

一九九二年設立のイーエルティイー株式会社(資本金二二〇〇万円)は、そのレーザースカンに特化して、独自技術を育んできた異色企業だ。

自社開発の「高速走査位置計測システム」は毎分五万回転(三mm/秒)するポリゴンスキャナーの面倒れ量を連続計測するもの。肉眼では決して捉えられない一万分の一度の傾きさえも測定する精巧さを誇っている。

また、新開発の「ダイナミックビーム径計測システム」は、走査しているレーザービームのビーム径を計測するもの。高回転での空気抵抗や高出力モーターの発熱によるビーム径への影響を測定でき、これによりLSU完

成状態でのビーム径計測が可能になった。

レーザースカンの応用技術は、近年では先行車探知システムによる速度制御や、宇宙探査船のレンジファイナダー、プリント基板の精度検査装置のレーザー三次元計測ユニットなど、同社の活躍でさらなる広がりを見せている。

三次元計測で広がる裾野

三次元計測が可能になったことで応用分野も拡大。例えば土木建築の分野では、土盛りの状態を測る距離センサをブルドーザーに搭載する研究が進められている。一方、歯科医療の分野



2003年7月のインターオプト展に出展

では、歯のつめものにチタンを採用する動きが進んでいるが、その型を決定する上で同社のスキャン技術が採用される案件もある。歯科技工士の人材不足も解消する技術で、大きな市場が期待されている。
年明けからはISO9001の認証取得に向けて動き出す同社。注目の一社だ。(木)
(協力/イーエルティイー)